

平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）



平成18年7月26日

上場会社名 株式会社 島精機製作所 (コード番号：6222 東証・大証各第1部)  
(URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 島 正博  
問合せ先責任者 専務取締役経理部長 田中 雅夫

TEL(073)471-0511(代表)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (金額の表示: 百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	11,725	31.9	1,939	65.4	2,081	60.2	1,201	98.6
18年3月期第1四半期	8,886	16.7	1,172	49.9	1,298	47.0	604	60.8
(参考)18年3月期	37,879		4,023		5,634		3,404	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	32	76	-	-
18年3月期第1四半期	16	49	-	-
(参考)18年3月期	91	92	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
19年3月期第1四半期	111,410		95,385		85.5	2,601	67	
18年3月期第1四半期	106,708		92,238		86.4	2,515	69	
(参考)18年3月期	109,302		95,330		87.2	2,599	24	

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
19年3月期第1四半期	790		1,211		604		8,087	
18年3月期第1四半期	1,084		3,144		595		4,309	
(参考)18年3月期	4,754		3,512		1,386		9,110	

3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円		百万円		百万円	
中間期	21,000		3,000		2,000	
通期	41,000		6,000		4,000	

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 109円10銭

\* 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の当社グループの連結業績は、コア・ビジネスである横編機事業においては、昨年1月のクオータフリー（繊維製品の輸入割当制限解除）を契機とする市場の混乱が、11月の米中繊維貿易交渉の合意により収束し、中国製繊維製品の中期的な輸出数量枠の見通しが明らかになったことで、中国、香港の大手ニットメーカーを中心に積極的な設備投資が回復し、大幅な売上増加となりました。一方で中東のトルコでは、製品の輸出先である欧州やロシア市場における中国製品との競合が影響し、設備投資が大幅に減退しました。イタリアを中心とする欧州市場では、昨秋のIKME（国際ニット機械見本市）以降、ホールガーマメント®（無縫製ニット）横編機の拡販を戦略的に進めましたが、本格的な受注の回復には至りませんでした。国内市場においても、消費マインドは拡大傾向にあるものの、中国からの製品輸入比率が依然として高水準にあり、厳しい状況が続きました。これらの結果、横編機事業全体では最大マーケットである中国、香港市場での売上増を主体に前年同期に比べ42.1%の増加となりました。

デザインシステム関連事業は、アパレル企画段階におけるコスト削減やクイックレスポンスを実現する新機能を拡充した「SDS-ONE」の提案販売に注力し、海外では売上が伸びましたが、国内市場では低調に推移し、前年同期比12.1%減少しました。

手袋靴下編機事業では、国内市場が持ち直し、またアジアの新興国やロシアでの作業手袋生産にも拡がりが見られましたが、前期堅調であった主力の韓国市場で減少し、前年同期比4.6%の減少となりました。

これらの結果、当第1四半期の全体の売上高は、117億25百万円（前年同期比31.9%増）となりました。利益面におきましては、横編機事業の売上高の増加に加え販売費及び一般管理費比率が低下したことで、営業利益は19億39百万円（前年同期比65.4%増）、経常利益は20億81百万円（前年同期比60.2%増）、当第1四半期純利益は特別損失の減少等もあり12億1百万円（前年同期比98.6%増）と、いずれも大幅な増加となりました。

\* ホールガーマメントは、株式会社島精機製作所の登録商標です。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における総資産は前期末に比べ21億7百万円増加し1,114億10百万円となりました。また、純資産から少数株主持分を控除した自己資本は952億18百万円となり、自己資本比率は85.5%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において、税金等調整前四半期純利益や減価償却費などの増加により、7億90百万円の収入となりました。投資活動においては投資有価証券の取得等により12億11百万円を支出しました。また、財務活動においては配当金の支払等に6億4百万円を支出しました。この結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は80億87百万円となり、前期末に比べ10億22百万円減少しました。

[業績予想に関する定性的情報等]

当第1四半期は前年同期に比べ大幅な増収増益となりましたが、売上高全体の約70%を占める中国、香港市場の動向は、厳しい競合状況が続くことや、貿易不均衡問題が再燃する可能性を否定できないことなどにより、中間期及び通期の業績につきましては決して楽観的なものではないと予測しています。このような状況の中、中国、香港市場においては、7月上旬開催の上海テックスに出展した生産効率と経済性に優れた新機種「SSG」「SIG」を核に、従来の販売代理店に代わる子会社設立により当社主導の総合的な販売戦略をさらに強化してまいります。また、ニューヨークにはホールガーマメント®の情報発信拠点としてデザインセンターを開設し、消費地市場への積極的な拡販を進めてまいります。以上を踏まえて、平成18年3月期決算発表時における業績予想の変更はありません。なお、個別業績予想についても同様であります。

<参考>

平成19年3月期の個別業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	20,500	2,800	1,800
通期	40,000	5,600	3,600

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 98円19銭

\* 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
		金額	金額	金額	増減率	金額
. 売 上 高		11,725	8,886	2,838	31.9	37,879
. 売 上 原 価		6,468	4,834	1,634	33.8	21,100
売 上 総 利 益		5,256	4,052	1,204	29.7	16,779
. 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		3,317	2,879	437	15.2	12,756
営 業 利 益		1,939	1,172	766	65.4	4,023
. 営 業 外 収 益		167	161	6	4.1	1,699
. 営 業 外 費 用		26	35	8	25.1	87
経 常 利 益		2,081	1,298	782	60.2	5,634
. 特 別 利 益		13	-	13	-	-
. 特 別 損 失		12	210	198	94.1	341
税金等調整前 四半期(当期)純利益		2,082	1,088	993	91.3	5,293
法人税、住民税 及び事業税		1,219	833	385	46.3	2,202
法人税等調整額		315	351	36	-	302
少数株主利益 又は損失( )		23	1	24	-	11
四半期(当期) 純 利 益		1,201	604	596	98.6	3,404

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当四半期	前年同四半期	増 減		(参考)
		(平成19年3月期 第1四半期末)	(平成18年3月期 第1四半期末)	金 額	増 減 率	平成18年3月期 金 額
(資産の部)					%	
・流動資産		78,352	75,400	2,952	3.9	76,573
現金及び預金		7,143	7,170	27		9,976
受取手形及び売掛金		56,109	55,155	953		53,624
たな卸資産		12,098	12,441	342		12,133
その他		5,951	2,830	3,121		3,747
貸倒引当金		2,951	2,197	753		2,909
・固定資産		33,057	31,307	1,749	5.6	32,729
1.有形固定資産		19,432	18,256	1,176	6.4	19,449
建物及び構築物		6,759	5,374	1,384		6,707
土地		10,685	10,679	6		10,645
その他		1,987	2,201	214		2,097
2.無形固定資産		134	140	5	4.2	143
3.投資その他の資産		13,490	12,911	579	4.5	13,136
投資有価証券		5,831	5,129	702		5,785
その他		8,784	8,987	202		8,492
貸倒引当金		1,125	1,205	79		1,141
資産合計		111,410	106,708	4,701	4.4	109,302
(負債の部)						
・流動負債		13,549	11,842	1,706	14.4	11,307
支払手形及び買掛金		5,049	4,690	359		4,231
賞与引当金		1,414	1,439	24		778
その他		7,085	5,712	1,372		6,297
・固定負債		2,475	2,437	37	1.5	2,472
退職給付引当金		1,540	1,542	2		1,547
役員退職慰労引当金		934	895	39		925
負債合計		16,024	14,280	1,743	12.2	13,780
(少数株主持分)						
少数株主持分		-	189	-	-	191
(資本の部)						
・資本金		-	14,859	-	-	14,859
・資本剰余金		-	21,724	-	-	21,724
・利益剰余金		-	63,408	-	-	65,008
・土地再評価差額金		-	5,051	-	-	4,493
・その他有価証券評価差額金		-	113	-	-	913
・為替換算調整勘定		-	135	-	-	5
・自己株式		-	2,681	-	-	2,687
資本合計		-	92,238	-	-	95,330
負債、少数株主持分及び資本合計		-	106,708	-	-	109,302
(純資産の部)						
・株主資本		99,338	-	-	-	-
資本金		14,859	-	-	-	-
資本剰余金		21,724	-	-	-	-
利益剰余金		65,442	-	-	-	-
自己株式		2,687	-	-	-	-
・評価・換算差額等		4,120	-	-	-	-
その他有価証券評価差額金		364	-	-	-	-
土地再評価差額金		4,493	-	-	-	-
為替換算調整勘定		8	-	-	-	-
・少数株主持分		167	-	-	-	-
純資産合計		95,385	-	-	-	-
負債、純資産合計		111,410	-	-	-	-

## 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 1 四半期)	(参考) 平成 18 年 3 月期
		金 額	金 額	金 額
・ 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		2,082	1,088	5,293
減価償却費		245	230	1,026
貸倒引当金の増加額		26	161	796
賞与引当金の増加額		635	722	62
受取利息及び受取配当金		132	144	460
売上債権の減少額(増加額)		2,486	483	2,065
たな卸資産の減少額(増加額)		24	1,486	1,152
仕入債務の増加額(減少額)		721	719	1,194
その他		460	143	506
小 計		1,575	192	6,942
利息及び配当金の受取額等		130	136	438
法人税等の支払額		915	1,412	2,626
営業活動によるキャッシュ・フロー		790	1,084	4,754
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の純減少額(純増加額)		510	1,600	400
有価証券の純増加額		440	49	279
有形固定資産の取得による支出		108	285	2,495
投資有価証券の純増加額		976	921	284
その他		196	287	854
投資活動によるキャッシュ・フロー		1,211	3,144	3,512
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー				
配当金の支払額		604	594	1,374
その他		0	1	11
財務活動によるキャッシュ・フロー		604	595	1,386
・ 現金及び現金同等物に係る換算差額		3	39	159
・ 現金及び現金同等物の増加額(減少額)		1,022	4,784	15
・ 現金及び現金同等物の期首残高		9,110	8,998	8,998
・ 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		-	96	96
・ 現金及び現金同等物の期末残高		8,087	4,309	9,110

## セグメント情報

### [事業の種類別セグメント情報]

(1) 当 四 半 期 (平成18年4月1日 ~ 平成18年6月30日) (単位:百万円)

	横 編 機 事 業	デ ザ イ ン シ ス テ ム 関 連 事 業	手 袋 靴 下 編 機 事 業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	10,132	332	597	662	11,725	-	11,725
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	10,132	332	597	662	11,725	-	11,725
営 業 費 用	7,107	284	448	657	8,497	1,288	9,785
営 業 利 益	3,025	48	149	4	3,227	(1,288)	1,939

(2) 前年同四半期 (平成17年4月1日 ~ 平成17年6月30日) (単位:百万円)

	横 編 機 事 業	デ ザ イ ン シ ス テ ム 関 連 事 業	手 袋 靴 下 編 機 事 業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	7,130	378	625	751	8,886	-	8,886
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	7,130	378	625	751	8,886	-	8,886
営 業 費 用	5,095	265	445	673	6,480	1,233	7,714
営 業 利 益	2,034	113	180	78	2,406	(1,233)	1,172

(注) 1. 事業区分は、売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品等

- (1) 横 編 機 事 業-----コンピュータ横編機、セミジャカード横編機
- (2) デザインシステム関連事業-----コンピュータデザインシステム、ニットCADシステム  
アパレルCAD / CAMシステム
- (3) 手 袋 靴 下 編 機 事 業-----シームレス手袋・靴下編機
- (4) そ の 他 事 業-----編機・デザインシステム用部品、エラスチカ(系)、修理、  
保守、ホテル業